

その他の化学工業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	9～ 10	朝に降雪があり、路面の凍結場所が見えない工場敷地を徒歩で移動中、転倒して頭部を路面で打った。	60	100 ～ 299
1	10～ 11	本社敷地内にて、倉庫周りの清掃中、給油所付近の地面が凍結していて足を滑らせ転倒し、地面に手をつき骨折した。	57	30～ 49
2	16～17	当社第二製造工場裏において、洗剤用容器のキャップが入った箱（約横1m×奥行0.5m×高0.7m）を運搬していた際、床の段差に右足を引っ掛けたためバランスを崩し、左膝を床に強打し、負傷したものである。	57	30～ 49
3	5～6	飼料庫よりコンテナを持ち飼料を取りに行く途中、凍結路面で転倒し、頭部を強打し受傷した。	53	1～9
3	12～13	工場内にて廃油回収作業終了後、ドラムヤード現場の最終確認を終え車両に戻ろうとしたとき、ぬかるみで足を滑らせ転倒した。その際、右足首に全体重がかかった状態で足首をひねった。	47	100 ～ 299
9	8～9	設備管理室前の道路上で、長さ7m重さ38kgのリップみぞ形鋼を二人で持ち上げ移動中、前方の作業者が後ろ向きで移動した為、足元にあった65A電管につまずき後ろ向きに転倒した。その際持っていたリップみぞ形鋼の先端が股間にあたりケガをした。	66	50～ 99
9	10～ 11	室外でコピーをとり自席に戻る際に、途中ファイリングをしている別の作業者の後ろを通ろうとした時に、足に躓きジャンプする様な形で手を広げたまま柵にぶつかり、右肩を脱臼してしまいヒビも入ってしまった。	41	100 ～ 299
	14～	工場を移動中に右足首を捻挫。原因は工場の床に湿りがあり滑り易くなっていた		30～

9	15	事である。	24	49
10	11～ 12	場内変電所内に設置の仮設プレハブ小屋で、工事に設置された仮設プレハブ小屋から出るために、開き戸を開けた際、突風でドアが急激に開き、被災者はドアノブを握ったまま外へ引っ張られ、転倒。その際、右手を捻り骨折に至った。当日朝に台風21号が通過したため、被災時は間欠的に強風が残る状態であった。11～12時の瞬間最大風速12m/s、平均風速7m/s。	47	1000 ～ 9999
10	11～ 12	会社工場内で作業中に移動する際、底部の凹部に足が入り、そのはずみで転倒し胸部を強く打った。	64	1～9
12	16～17	会社の体育館にて、バスケットボールで5対5の練習をしていた。ディフェンスをしていて、リバウンドの着地時に相手の足の上に乗る、転倒した。	23	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html